

AWAICHI

淡路地域サイクルツーリズム推進方策

# アワイチ 推進プログラム 50



2025年12月

兵庫県のサイクリングツーリズム推進に向けた  
淡路地域モデルルート推進協議会

# アワイチ推進プログラム50(2024年[R6]~)

## 1 策定の背景

### ● 国の動き

- ・自転車活用推進法の施行(2017年5月)
- ・自転車活用推進計画の策定(2018年6月)  
目標の一つに「サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現」
- ・「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」の策定(2012年11月、改定2016年7月、2024年6月)

### ● 県の動き

- ・「アワイチ」人気の高まりを受け、淡路地域においてサイクリングを核にした地域活性化の取り組みに着手(2010年)
- ・アワイチが「ひょうごサイクリングモデルルート」に設定(2020年)
- ・「兵庫県自転車活用推進計画」の策定(2020年3月、改定2024年3月)

### 現状

#### 淡路島におけるサイクリングの強み

- ルートの魅力(距離、コースバリエーション、島を一周する達成感、海や山の景観の良さ等)
- 食事(ご当地グルメ等) ● 絶景スポット

#### 淡路島におけるサイクリングの弱み

- 自転車の走行空間、環境 ● 交通手段
- ルートの案内 ● 舗装の傷みや段差
- トラブル・メンテナンス対応 ● 休憩箇所、給水箇所

※サイクリストアンケート調査結果より(2023年、洲本土木事務所)

## 2 基本的事項

### モデルルート

淡路地域を代表するモデルルートは、淡路島の海岸線沿いを時計回りに一周する「アワイチ」(延長約150km)とする

### 基本方針

【目的】サイクルツーリズムを進め、**淡路島の魅力を発信し、交流人口の拡大による地域の活性化**を図る  
[進め方]・**自転車だけでなく歩行者や車の交通安全**にも資する自転車走行環境整備に取り組む  
・**ナショナルサイクルルートの指定**に向け、「アワイチ」の走行環境や受入体制の整備等の取り組みを関係者連携のもと進める

### 計画期間

**2024(令和6)年度から概ね10年間**

## 3 施策目標及び実施施策

9目標、施策4分類、50施策を継続。課題に応じて施策を**強化**。

### めざすべき姿(目標)

目標1 目標2	誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境 誰もが迷わずに走行できる環境	→	施策1 走行環境の整備 (19施策)
目標3 目標4 目標5 目標6 目標7	多様なサイクリストが快適に休憩できる環境 多様な交通手段の確保 サイクリストが安心して宿泊することができる環境 サイクリング中のトラブルに対応できる環境 地域の魅力を満喫し、地域貢献に寄与する仕掛けづくり	→	施策2 サイクリスト 受入環境の整備 (21施策)
目標8	誰もがどこでも容易に情報が得られる環境	→	施策3 情報発信の充実 (6施策)
目標9	関係者が連携して施策を推進していくための体制づくり	→	施策4 取組を推進していくための 体制づくり(4施策)

## 4 数値目標

### ・年間自転車走行台数の増加

#### 現状

※R5年度

淡路市(郡家)  
22,145台

洲本市(小路谷)  
11,749台

南あわじ市(福良)  
11,192台

※通行台数観測カウンターより(2024年、洲本土木事務所)



### ・サイクリスト満足度向上